

復興に駆ける！

第 22 号
平成 26 年 4 月 10 日発行
岩手県立
生涯学習推進センター
TEL 0198 - (27) - 4555

◇ 今回はこの方を紹介します。

NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク 寺本 弘伸 常務理事



寺本常務理事

兵庫県西宮市の事務所に取材で訪れた日は、寺本さんは午後から野田村へ 23 回目の支援に出発する日だった。「日本災害救援ボランティアネットワーク」(以下、NVNAD) は、阪神・淡路大震災の被災者を救援するために全国から駆けつけたボランティアや被災地域のボランティア団体によって設立された「西宮ボランティアネットワーク」がその前身となっている。行政とも連携して被災者救援活動を行い「西宮方式」として全国に知られるようになった。

1996 年 1 月には、現在の NVNAD へ名称を変更し、国内のみならず、海外へも災害救援で学んだ教訓を発信する活動を続けている。

東日本大震災では、発生の 11 日後に青森・三沢空港経由で野田村に入り、現地で活動する八戸高専、弘前大学、京都大学などと「チーム北リアス」を結成した。現在も現地に事務所を設置して活動を続けている。野田村の仮設住宅を回り、住民の声を丁寧に聞き取りしながら、ニーズに合わせた支援活動をするように心がけているようで、今回の支援活動では、子どもたちが楽しめるイベントも開催すると聞いた。事務所には、支援物資がたくさん入ったダンボール箱が山積みされており、これらの荷物を運ぶため、西宮から野田までバスで 18 時間かけて移動するという。このボランティアバスには大学生も乗車し、現地で一緒に活動を行う。また NVNAD では、3 ヶ月に 1 度「響」という広報誌を発行し、その中で野田村での活動状況、被災地の現状を広く発信している。この他にも「野田村ファンクラブ」を結成し、西宮市でファンクラブのつどいも開催している。

「待っていている人がいるので、これからも支援を続けていきたい。」と寺本常務理事は熱く語ってくれた。(M)



広報誌「響」

連絡先

NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク
TEL 0798-34-9011
Email : nishinomiya@nvnad.or.jp